

絵馬で軽部神社を発信

「絵馬奉納キット」を開発
～総社吉備路商工会 青年部～



軽部神社（清音軽部）は、乳神様として知られ、安産や母乳の出を願う女性たちが、乳房をかたどった絵馬を数多く奉納しています。

総社吉備路商工会の青年部は、このご利益にあずかってもらい、観光振興につなげようと、軽部神社「絵馬奉納キット」（上の写真）を開発しました。絵馬は縦約14cm、横約24cmの大きさ。絵馬は、布製のお乳をはじめ、板の切り出しや「大願成就」「軽部神社」の焼印などは、すべて青年部員や地区の高齢者による手作りです。キットには、願い事の書き方や、絵馬の作り方も書かれており、手軽に奉納ができるようになっていきます。

このキット（おっぱいストラップ付き）は、サンロード吉備路や吉備路もてなしの館、総社吉備路商工会の本部と各支所で1個2000円で販売中です。

問い合わせ 総社吉備路商工会 ☎ 8000



「一人でも多くの人に、軽部神社を訪ねてもらおうと100セット作りしました。要望があれば増産したい」と、総社吉備路商工会青年部長の小野耕作さん（清音軽部）

ブラジル人学校「エスコラー・モモタロウ・オカヤマ」が4月6日、総社駅前民間のビル内に開校しました。ブラジルに帰る予定のある3歳から14歳までのブラジル人の子どもが対象。母国ブラジルの教育内容にのっとったポルトガル語による授業はもちろん、日本の小学校と同じように日本語による授業も行われます。

この日本語による授業を行うときに使う教科書を集めています。公立小学校で使われていた小学校1年生から6年生までの教科書や教材で、使用する予定のないものや廃棄予定のものがあれば、提供してください。随時、受け付けていますので、持参、または郵送でお願いします。

また、この学校で講師やお手伝いをしてくれるボランティアアも募集しています。

受付場所・問い合わせ
NPO法人もたらう海外友好協会 ☎ 6780、〒719-1136 駅前一丁目3-36

使用済み教科書の提供を

ブラジル人学校の教材として
～中四国・九州地方では初の開校～



4月6日、入学式が行なわれ3歳から14歳までの15人が入学した。新入生を体表して白部・ブルーノ・隆一くん（写真）が「みんなといっしょにがんばります」とあいさつ。市も机といすを提供している

まちの動き

「総社を全国に発信しよう」。
この目標を向かってがんばっている活動を紹介します。



ロケ地誘致に向け

そうじゃフィルムコミッション設立
～映画やドラマで総社を発信～

★そうじゃフィルムコミッションのホームページ
<http://www.kibiji.ne.jp/sojafc/>

3月26日、映画やドラマのロケ地の誘致やロケの支援を通じて、総社市を全国に発信しようと、そうじゃフィルムコミッションが設立されました。

この会は、市観光協会をはじめ、総社商工会議所、同青年部、県、市、各種団体の20団体で構成。会長には片岡市長が就任しました。片岡会長は、「総社にはロケ地にふさわしい場所がいっぱいある。それを全国に発信したい」と、就任のあいさつをしました。

この日開かれた設立総会には約30人が出席。ホームページによる情報発信が活動の軸となる平成20年度の事業計画も決まりました。また、フォトコンテストを2回計画し、ロケ地の発掘や活動の周知などを行っていきます。

なお、そうじゃロケ地フォトコンテストの最優秀賞は、河野勤さん（中央二丁目の「まちかど郷土館」）に決まりました。

タンチョウの愛護

吉備タンチョウの会設立
～高梁川の自然保護も～



吉備タンチョウの会の設立会議



下倉地内で放鳥調査されているタンチョウ（写真は昨年）

3月21日、吉備タンチョウの会（会長：水野三重子さん）が設立されました。この会は、各種団体の代表や昭和地区の有志ら約80人で構成。平成12年以降、タンチョウの愛護と高梁川の自然保護などに取り組んできた「高梁川とタンチョウを守る会」の活動を、市内全域に広げていこうと設立されたものです。

水野会長は就任にあたって、「タンチョウが総社の空を優美に舞うのを想像するとワクワクする。タンチョウのまちを全国にアピールし、市の活性化にもつながりたい」とあいさつ。同会は今後、気運を盛り上げ、賛同する人の輪を広げていく活動を進めていきます。

同会では、会員を募集中です。入会を希望する人は、事務局のある総社吉備路商工会昭支所 ☎ 1116 まで。